

令和3年度 事業報告

施設名 小規模保育園六甲道

事業年度	定員(人)	児童数(年平均)			充足率(%)			延長保育利用人数(延人数)		園庭開放他 (延人数)		
								30分延長	1時間延長			
平成29年度	19人	1号 2, 3号	19人	19人 2, 3号	1号 2, 3号	19人	100%	1号 2, 3号	100%	2人	人	人
平成30年度	19人	1号 2, 3号	19人	19人 2, 3号	1号 2, 3号	19人	100%	1号 2, 3号	100%	0人	人	4人
令和元年度	19人	1号 2, 3号	19人	18人 2, 3号	1号 2, 3号	18人	95%	1号 2, 3号	95%	0人	人	13人
令和2年度	19人	1号 2, 3号	19人	15人 2, 3号	1号 2, 3号	15人	79%	1号 2, 3号	79%	0人	人	0人
令和3年度	19人	1号 2, 3号	19人	14人 2, 3号	1号 2, 3号	14人	74%	1号 2, 3号	74%	0人	人	0人

法人の基本方針	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善(A)
人権の尊重	☆教育・保育理念 同朋福祉会創立者江川義清の「人は大切 子は宝」の理念をもとに、乳幼児を保育する中、人間尊重と子ども第一主義で子どもの最善の利益を追求し、積極的に福祉の増進を図る。	・人権擁護チェックリスト(年2回実施) ・おうちのような雰囲気と、主体的に遊べる環境作り ・主体性を尊重し、一人一人の思いを受容する	・園内研修と共にチェックを実施 ・子どもの発達に応じたあそびを提供できる保育室を整備 ・養護を大切にした保育を実施	・定期的に確認することで、自らの保育を振り返る機会となった ・子どもがあそびを選べる安全な保育環境を目指したが、クラスターが発生した ・感染予防対策を行なながら、子どもとの適切な触れ合いも継続できた	・研修等により各職員の意識を高め、保育の質の向上を目指す ・サキュレーター等を使用し、換気、空気の流れを改善し、より安全な環境を作る ・引き続き、適切な触れ合いを大切にし安心して過ごせる保育を行う
サービスの質の向上	・子ども、家庭の支援 ・説明責任の徹底	・送迎時、笑顔で一人一人の保護者と丁寧に関わる ・保護者参加行事の実施 ・アンケートで保護者のニーズを把握。見直・改善・返答の周知 ・卒園に向け、適切な支援や説明を果たす、引継書の作成 ・重要事項説明会を実施（入園時）	・一人一人に合わせた丁寧な関わりと、保護者との積極的なコミュニケーションの実施 ・感染予防に配慮した内容で、保育参加や運動あそび会を実施 ・園だよりや懇談等で、アンケートの意見と改善策を共有 ・年間を通して卒園後の行先の相談に乗り、移行先への引継書を作成 ・入園児の不安を解消できるように丁寧な説明を行った	・感染予防対策と保護者とのコミュニケーションを通じた良好な関係性作りが両立できた ・安全に実施できる無理のない内容で実施出来た ・アンケートにより、継続していくこと、見直すことの確認と反映が行えた ・卒園児5名は希望施設に入所できた（内、連携枠2名） ・一家庭ずつ十分に時間を設け、分かりやすく伝えるように努めた	・子どもと保護者にとっての第2のおうちを目指し、丁寧な支援を継続する ・親子遠足等もコロナ禍でも出来る内容を検討し、成長を共有できる場を設ける ・意見や要望が出てくるように設問内容を工夫し、より良い運営に繋げる ・卒園後の連携園を求める保護者が増加しているので、連携枠の確保に努める ・重要事項、入園のしおりを見直し、より分かりやすい内容と説明に努める
地域との共生	・地域に開かれた施設づくり ・子育て支援	・プリコ六甲道との合同避難訓練や館内散歩の実施 ・地域開放「小規模保育園へようこそ」の実施 ・一時保育の実施	・新型コロナウイルス感染予防により、全ての実施を見合せた ・新型コロナウイルス感染予防により、全ての実施を見合せた ・一時保育受入 実績147名（昨年9名）	・合同避難訓練や館内散歩は感染予防対策の観点から実施しなかった ・地域の方を招いての実施は感染予防の観点から行わなかった ・積極的に受け入れ、リピート利用や入園に繋げることができた	・プリコ六甲道との非常時の協力体制を確認し、コミュニケーションを継続する ・土曜日を利用した地域開放を検討 ・たんぽぽとの園外合同保育の実施 ・積極的な受け入れを継続して定員の余裕分を活用し、リピート利用を目指す
人材育成	・職員の質の向上 ・働きやすい環境づくり	・園内研修を実施（月1回） ・合同研修を実施 ・行動計画の周知徹底 ・無期雇用職員への転換の推進 ・管理者との面談（年2回）	・園内研修の充実を図る（月1回） ・キャリアアップ研修の受講 ・年次有給休暇の取得率100%を目指す ・役割、業務の明確化と今後の働き方についての確認	・オンライン研修ができる環境の準備できていなかった（R4.3光回線開通工事済） ・計画的に有給消化し、ほとんどの職員が目標を達成した ・各職員が責任を持って役割をこなし、スムーズに業務が進んだ	・新任職員の育成と同朋福祉会の一員としての意識の醸成を図る ・キャリアアップ研修の積極的な受講 ・連携園、姉妹園と協力し、取得率の目標達成を継続する ・職員のやってみたいことを会議の場で話し合い、やりがいに繋げる